

生田葵 あおい 小説家。明治九年四月十四日東京都生れ。昭和二十一年十一月二十一日歿（八七六一元翌）。本名盛五郎。前號葵山、葵山人。東洋英學校卒。上京して巖谷小波の師事。明治二十二年黒田湖山、永井荷風等と同人誌『活文壇』創刊。大正二年歐洲遊學。

著書『貴族の戀』（生田葵山人名、明治二十五年五月）、『二百大學生館』、『獨逸哀話』（大正九年五月五日上野書洞「哀話叢書」）、『竹

田源次郎傳』（昭和十三年十一月）、『小林美一評』（『お話の久留

島先生』（昭和十四年十一月）、『杉模書房』（『和氣清磨』（昭和十

八年十一月）、『二百大阪・全國書房』（『兒島高德』（昭和十八年二

月二十八日東水社）、『建武中興談話』、『野濤基』（内題「野濤基朝臣」昭和

十八年九月十五日大阪・古誠社）、『辨肉待』（昭和十九年六月）

『二百大阪・自進社』等。

